

会期期間

2024年8月1日(木)

▶ 9月25日(水)

企画展

食

時

代

人々

『大日本物産図会』にみる
「食」「時代」「人々」
—— 第一回「日本の食文化」——



▲ 武蔵国浅草海苔製図

公益財団法人 味の素食の文化センター

日本の食文化

この度、味の素食の文化センターが『大日本物産図会』全一一八図を揃いで收藏したこと
を記念し、三ヶ年連続で『大日本物産図会』に
みる「食」「時代」「人々」展を開催いたします。

第一回目 企画展のテーマは、「日本の食文
化」です。本作には、京都（山城国）の宇治茶や
山梨（甲斐国）の葡萄、そして長野（信濃国）の
蕎麦といった、今なお同地で名物とされてい
る品々が描かれています。

本展では「大日本物産図会」全一一八図から
一七図を厳選し、「ともに つくる」、「ともに
とらえる」、「ともにわけあう」、そして「とも
にたのしむ」と
いう四章構成か
ら作品を紹介す
ることで、各地の
名産品のみなら
ず物産を巡る
人々の多様な営
みに着目いたし
ます。



下総国醤油製造之図

ともに つくる

第一章

ともに たのしむ



信州蕎麦切製造之図

第四章

ともに わけあう



和泉国堺浦桜鯛並に魚市之図

第二章

ともに とらえる



筑前国鯖漁之図

第二章

企画展の開催にあたり

味の素食の文化センターでは食文化にかかわる様々な企画展を開催
しており、今年度より『大日本物産図会』の企画展を3年連続で実施い
たします。監修者に東京藝術大学大学美術館の曾田めぐみ氏を迎えて
全118図の意味を再考し、各年のテーマに沿って初めてでも楽しく、
わかり易く展示いたします。明治という時代が持つエネルギーや人々
の活気あふれる姿を、展示や図会そのものから感じていただければ幸
いです。

錦絵『大日本物産図会』とは？

「錦絵」とは、江戸時代中期に発展した多色摺りの浮世絵版画で、明治
時代後期にいたるまで江戸・東京の名産品として長く親しまれました。
『大日本物産図会』は、明治10年(1877)の第1回内国勧業博覧会
に併せて制作された錦絵の揃物です。三代歌川広重(1842-94)が絵
筆を揮い、錦栄堂萬屋の大倉孫兵衛から出版されました。日本各地の
名産物の生産にたずさわる人々の働く姿を描き出しており、全118図が
知られています。



公益財団法人
味の素食の文化センター

食文化展示室（「食の文化ライブラリー」2階）

- 観覧料／無料
- 開館日／月曜日～土曜日
- 開館時間／午前10時～午後5時
- 休館日／日曜日・祝日、年末年始、図書整理期間、臨時休館日

〔公益財団法人 味の素食の文化センター／食の文化ライブラリー／食文化展示室〕
〒108-0074 東京都港区高輪3-13-65 味の素グループ高輪研修センター内
TEL 03-5488-7318(事務所)
TEL 03-5488-7319(食の文化ライブラリー／食文化展示室)
FAX 03-3445-7965

HP <https://www.syokubunka.or.jp> f <https://www.facebook.com/ajishokubunka/>



都営地下鉄浅草線 高輪台駅 …………… A1出口より徒歩4分
JR・京急 品川駅 …………… 高輪口より徒歩15分
JR・東急・都営地下鉄浅草線 五反田駅 …… 東口より徒歩15分
都営バス・ちいバス「高輪三丁目」停留所 …………… 徒歩2分
※駐車・駐輪スペースはございませんので、お車・自転車等のご来館はご遠慮ください。